

キャリア教育に関する資料

キャリア教育で育成する能力
と推進に向けて

2 育成する能力と推進に向けて

●「基礎的・汎用的能力」

- ・必要な要素をできる限り分かりやすく提示するという観点でまとめたもの
- ・相互に関連・依存した関係。特に順序があるものではない。
- ・すべての者が同じ程度あるいは均一に身に付けることを求めるものではない。
- ・各学校においては、この4つの能力を参考にしつつ、それぞれの課題を踏まえて具体的な能力を設定し、工夫された教育を通じて達成することが望まれる。

● 人間関係形成・社会形成能力

多様な他者を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画することができる力

● 自己理解・自己管理能力

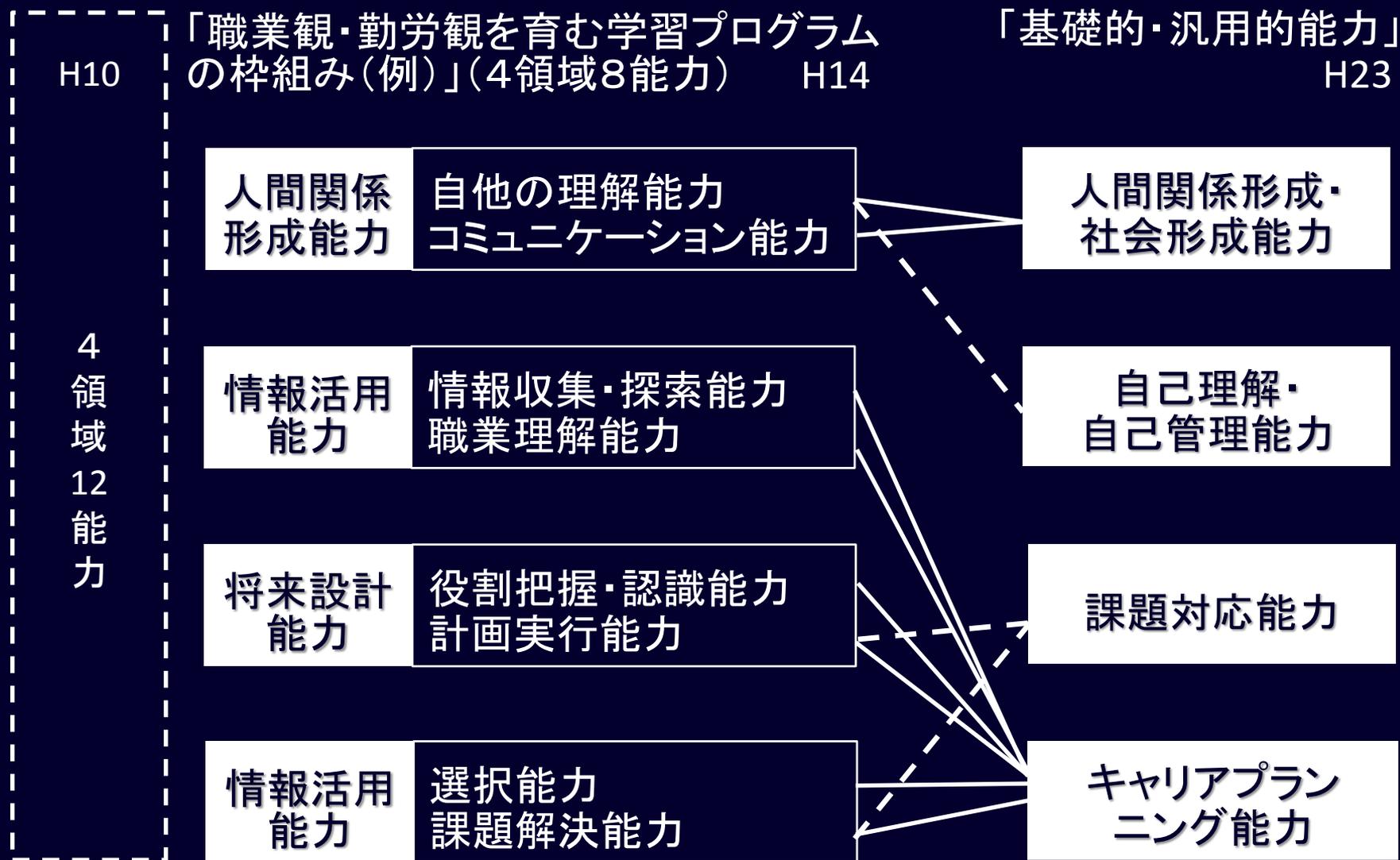
自分と社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、進んで学ぼうとする力

● 課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

● キャリアプランニング能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方について、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力



小学校，中学校，高等学校，大学の教員と企業の代表者らで作成
 内閣府「人間力」・経産省「社会人基礎力」・厚労省「就職基礎能力」・中教審「学士力」等参考

A市

人とつながる力
(結いの力)

自分を見つめ夢や目標
を描く力

課題をもって最後まで
やり抜く力

職業や仕事について
興味や関心をもつ力

ふるさとのよさに気づき、
自らかかわる力
(ふるさと生活能力)

B市

自分をつくる力

課題に取り組む力

他者や社会と
かかわる力

生き方を考える力

● 人間関係形成・社会形成能力

多様な他者を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画することができる力

小学校			中学校	高校
低学年	中学年	高学年		
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつや返事をする ・友だちと仲良く遊び、助け合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのよいところを認め励まし合う ・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と異なる意見も理解する ・異年齢集団の活動において役割と責任を果たそうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境や人間関係に適応する ・自分の言葉が、相手や他者に及ぼす影響がわかる ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の価値観やユニークさを理解し受け入れる異年齢の人や異性等、多様な他者に応じた適切なコミュニケーションを図る ・リーダー・フォロアースキップを発揮して相手の能力を引き出し、チームワークを高める

他者の個性を理解する力
コミュニケーション・スキル

他者に働きかける力、
チームワーク リーダーシップ など

●自己理解・自己管理能力

自分と社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、進んで学ぼうとする力

小学校			中学校	高校
低学年	中学年	高学年		
・自分の好きなことや嫌なことをはっきり言う	・自分のよいところを見つける	・自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する	・自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する	・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れ伸ばそうとする

自己の役割の理解
忍耐力

前向きに考える力
ストレスマネジメント

自己の動機付け
主体的行動 など

●課題対応能力

仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力

小学校			中学校	高校
低学年	中学年	高学年		
<ul style="list-style-type: none"> ・作業の準備や片付けをする ・自分のことは自分で行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・憧れとする職業を持ち、今しなければならぬことを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活や学習、進路や生き方等をめざして自ら課題を見いだしていくことの大切さを理解する ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分のめざすべき将来を暫定的に計画する 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する ・将来設計、進路希望の実現をめざして課題を設定し、その解決に取り組む

情報の理解・選択・処理等
課題発見 計画立案

本質の理解
実行力

原因の追究
評価・改善 など

●キャリアプランニング能力

「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方について、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

小学校			中学校	高校
低学年	中学年	高学年		
<ul style="list-style-type: none"> ・家の手伝いや割り当てられた仕事の必要性がわかる ・身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの役割や役割分担の必要性が分かる ・いろいろな職業や生き方が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活には様々な役割があることが分かる ・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係を理解する ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える ・上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の略歴が分かる 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 ・多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める ・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる

学ぶこと・働くことの意義や役割の理解
将来設計 選択 行動と改善

多様性の理解
など

高等学校

現実的探索・試行と社会的移行準備

- 自己理解の深化と自己受容
- 選択基準としての職業観・勤労観の確立
- 将来設計の立案と社会的移行の準備
- 進路の現実吟味と試行的参加

中学校

現実的探索と暫定的選択

- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- 興味・関心等に基づく職業観・勤労観の形成
- 進路計画の立案と暫定的選択
- 生き方や進路に関する現実的探索

小学校

進路の探索・選択にかかる基盤形成

- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- 身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上
- 夢や希望，憧れる自己のイメージの獲得
- 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成

【高】挑戦する やりぬく 夢・希望を広げる

【中】自分と 友だちと みんな いっしょに

【低】好きなこといっぱい できること
いっぱい 学校って楽しいな

① 必須の要件として記すべきことから

- ・各学校において定めるキャリア教育の目標
- ・教育内容と方法
- ・育成すべき能力や態度〈基礎的・汎用的能力〉
- ・各教科等との関連

② 基本的な内容や方針等を概括的に示すことから

- ・学習活動
- ・指導体制
- ・学習の評価

③ その他、各学校が全体計画を示す上で必要と考えることから

- ・学校の教育目標
- ・当該年度の重点目標
- ・地域の実態と願い
- ・生徒の実態
- ・教職員の願い
- ・保護者の願い
- ・校区小学校との連携

キャリア教育の全体計画(全体構想)の書式例

